

# 家族を描き続けてきた是枝裕和監督が、「家族を超えた絆」を描く衝撃の感動作



『三度目の殺人が』日本アカデミー賞最優秀賞最多6冠という快挙を成し遂げ、その興奮も冷めやらぬうちに、心揺さぶる最新作を完成させた。今度の主役は、犯罪でしかつなげなかった家族。

日々万引きを重ねる父をリリー・フランキー、その妻を安藤サクラ、彼女の妹を松岡茉優、祖母を樹木希林。さらに、池松壮亮、高良健吾、池脇千鶴、柄本明、緒形直人と、実力派俳優たちが集まった。

生計を立てるため、家族ぐるみで軽犯罪を重ねていくうちに、一層強く結ばれる一家。だがそれは、許されない絆だった。人と人との関係が希薄な今の時代に、『誰も知らない』『そして父になる』など様々な家族の形を真摯に見つめ続けてきた是枝監督だからこそ描ける、真の“つながり”とは何か、を問う衝撃の感動作が誕生した。

—— 第42回アカデミー賞最優秀賞最多8冠・他5部門優秀賞獲得 ——

●最優秀作品賞 ●最優秀監督賞 ●最優秀脚本賞「是枝裕和」 ●最優秀主演女優賞「安藤サクラ」 ●最優秀助演女優賞「樹木希林」他

—— 第71回カンヌ国際映画祭 ——

●コンペティション部門 パルムドール(最高賞)

—— その他国内・国外合わせて32の各映画賞にて受賞・ノミネートされた ——

## 【STORY】

高層マンションの谷間にポツンと取り残された今にも壊れそうな平屋に、治と信代の夫婦、息子の祥太、信代の妹の亜紀の4人が転がり込んで暮らしている。彼らの目当ては、この家の持ち主である初枝の年金だ。足りない生活用品は、万引きで賄っていた。社会という海の底を這うような家族だが、なぜかいつも笑いが絶えず、互いに口は悪いが仲よく暮らしていた。

冬のある日、近隣の団地の廊下で震えていた幼い女の子を、見かねた治が家に連れ帰る。体中傷だらけの彼女の境遇を思いやり、信代は娘として育てることにする。だが、ある事件をきっかけに家族はバラバラに引き裂かれ、それぞれが抱える秘密と切なる願いが次々と明らかになっていく——。

コピーライト:©2018フジテレビジョン ギャガ AOI Pro.



## 鹿嶋名画鑑賞会『万引き家族』上映会

## 日本映画アカデミー賞 受賞記念県内縦断上映会

2019年9月21日(土)鹿嶋勤労文化会館ホール

①10:30~12:30(開場10:00) ②14:00~16:00(開場13:30)

チラシ持参で 当日料金 1,100円に割引

前売り券 1,000円(当日:1,300円)全席自由 ◆チケット発売/7月24日(水)~

◆本作品は[PG12指定]作品です。12歳以下のお子さんの鑑賞には保護者の承諾が必要です。

前売券販売所 ◆鹿嶋勤労文化会館 TEL 0299-83-5911(発売初日は9:00から窓口販売、13:00から電話予約開始)

◆ショッピングセンターチェリオ

●チケット予約・問い合わせ先/鹿嶋勤労文化会館 TEL 0299-83-5911(月曜休館)、(有)茨城映画センター TEL 029-226-3156(平日のみ10:00~18:00) ●主催/(有)茨城映画センター ●共催/鹿嶋勤労文化会館/(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団

盗んだのは、絆でした。

「そして父になる」「三度目の殺人」  
是枝裕和監督作品

# 万引き家族

リリー・フランキー 安藤サクラ

松岡茉優 池松壮亮 城桧吏 佐々木みゆ  
緒形直人 森口瑤子 山田裕貴 片山萌美 / 柄本明  
高良健吾 池脇千鶴 / 樹木希林

監督・脚本・編集：是枝裕和 音楽：細野晴臣（ビクターエンタテインメント）

製作：石原陵 依田賢 中江康人 プロデューサー：松崎重 代情明彦 田口聖 アソシエイトプロデューサー：大澤恵 小竹里美 撮影：近藤龍人  
照明：藤井勇 録音：富田和彦 美術：三ツ松けいこ 装飾：松葉明子 衣裳：黒澤和子 ヘアメイク：酒井夢月 音響効果：岡瀬晶彦  
助監督：森本晶一 キャスティング：田端利江 制作担当：後藤一郎 ラインプロデューサー：熊谷悠 製作：フジテレビジョン、ギャガ、AOI Pro.  
制作プロダクション：AOI Pro. 配給：ギャガ ©2018フジテレビジョン ギャガ AOI Pro. gaga.ne.jp/manbiki-kazoku

GAGA★